

学校だより<3月第2号>

令和6年3月15日

# 朝日ヶ丘

学び合い 支え合う学校



家庭数



芦屋市立朝日ヶ丘小学校長 高橋 孝子

<https://ashiya-municipal-asahigaoka-elementary-school.edumap.jp>

## 言葉を大切にしていますか

少しずつ暖かくなり春らしさを感じられる頃となりました。来週の19日には、6年生が卒業式を迎えます。また、1～5年生は、25日に修了式を迎えます。この節目の時に、みなさんに伝えたいことがあります。

みなさん、「言葉」を大切にしていますか？

学校生活の中で、「バカ」「ウザい」「キモい」「はあ？」「うるさい」など、気になる言葉を耳にすることがあります。悪ふざけや冗談、遊び感覚の軽い気持ちで言った言葉なのかもしれません。相手にされたことに腹が立ったから言い返した言葉なのかもしれません。

でも、言われた人は、どんな気持ちになるでしょう？

いやな気持ちになったり、悲しい気持ちになったり、落ち込んだり、怒りが込み上げたりするかもしれません。大切な体のこと（性的なこと）を軽い気持ちでからかったり、あだ名でよんだり、冷やかしたりすることも、相手の心を深く傷つけます。

最近では、SNS（ラインやインスタグラムなど）で人の悪口を書きこんだり、広めたりしたことで、大きなトラブルになるケースが増えてきました。

SNSは、誰もが気軽に自分の意見や思いを発信できる便利な道具です。でも、使い方をまちがえると、人の心を傷つける道具になってしまいます。例えば、ラインのグループから友だちをわざと外してみたり、友だちの悪口をコメントし合って盛り上がりやすくなることが、どれほど友だちの心を傷つけることになるか、想像してみましよう。

インターネットという世界に発信した内容は、後でしまったと思って取り消そうとしても、完全に消すことができません。もしも人の悪口やうそが広まってしまったら、その内容は大人になってからもずっと相手を苦しめることとなります。そしてそれは、悪口やうそを広めた自分自身の心も苦しめることになるのです。そのことを、みなさんに知っておいてほしいです。

言葉には、とても大きな力があります。「自分が同じことを言われたらどう思うかな？」と考えてみましょう。言葉を人を傷つけることに使うのではなく、言われると嬉しくなる、幸せな気分になる、元気を与えることに使っていけるとすてきですね。

保護者の皆様、学校はこれからも相手の気持ちを考えて言葉を丁寧に使っていく大切さを子どもたちに伝えてまいります。ご理解とご協力をよろしくお願いいたします。